

平成 25 年度事業報告

平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

I はじめに

美術館設立から 4 年が経過した。一般財団法人で設立した当美術館は平成 24 年 2 月に千葉県知事より公益財団法人の認定を頂き、公益財団法人として 2 事業年度を過ぎた。

単に芸術の鑑賞だけでなく、地域の歴史・文化、そして地域資源を活用し活性化を図るいわゆる「町おこし」の過程で実現し、シンボルとしての使命を担った美術館である。展覧事業にとどまらず「石と芸術の町」を合言葉に地域内の遊休資産の再活用、地域の行事やイベントを開催し、多くのボランティアの協力により地域全体を視野に入れた参加型の展覧事業を推進するという崇高な理念のもと運営を行ってきた。課題先進国と言われる日本の中でも特に少子高齢化、過疎化、商業・産業の衰退が進んでいる房総地域にあって、地域固有の特性を活かしながら、賑わいのあるまちづくりを実現し、地域振興に貢献し、地域の文化、芸術、教育にも寄与することが金谷美術館の最大の使命である。

しかしながら財団自体の収益基盤は今なお脆弱である。限られた予算で年間 4～5 回の企画展示に努めるも入館者数は伸び悩んでいる。また多くの制約の中、広報も行っているものの知名度は行渡っているとは言えない。そのような中、公益財団法人日本美術協会 上野の森美術館のご協力を頂き、美術館運営の基本について指導を頂く事が出来た事は大きな財産である。今後は運営面でいろいろな指導を仰ぎながら安定した運営を目指したい。

また昨年 12 月に行われたバリ金谷インターナショナルアートウィークではバリ島より小学生 27 名、先生方 9 名、政府、マスコミ関係者を合わせ総勢 45 名の国際交流を美術館が中心になり行った。「芸術の島」バリ島は“神々の島”と呼ばれ信仰の中に芸術性が息づく独特の文化を持った島である。この事業を行うことにより、バリ島に今も残る自然を敬う精神、家族の絆、コミュニティー（村）の大切さをバリの子供たちと交流することにより実感してもらおう。石の文化、芸術性の歴史など金谷地区とバリ島とは関連する部分が多く、今回の交流を通じお互いの芸術交流により新たな芸術的価値の創造を図り、今後の交流の拠点として金谷の地域活性化にも寄与することが期待できる。

また地域の貴重な観光資源である鋸山の登山道でナチュラルアートを制作する「ネイチャーミュージアム NOKOGIRIYAMA」を福武財団の助成事業で行った。近年産業遺産としての価値が見直されてきた鋸山の遺構の「車力道」の修復事業と合わせ、パンフレットの作成も行い地域の観光振興にも大きく寄与する事が出来た。

当公益財団法人の事業は、公益財団法人に相応しい目的に沿った公益目的事

業を、積極的に展開しているが、これらの事業は入館収入や独自の財政力では無理があり、多くの法人、団体、個人の支援なくしては困難である。平成 25 年度において募金活動を積極的に推進してきた結果、寄付金・募金収入として 7,181 千円を計上する事が出来た。今後は本格的に金谷美術館の使命と意義を多くの方に理解して頂き支援を仰ぎながら安定的に運営を行っていきけるよう努力したい。近年、特に 3・11 の東日本大震災以降、募金や寄付に対する関心が急速に高まって来ている。とはいえ本国の寄付文化自体は西洋諸国に比べたち遅れており、メセナ事業に意識の高い企業との連携や意識の高い個人団体など、新しい潮流として今後の展開が期待できる。

II 公益における事業の概況

金谷美術館は、地域の町おこしの中できた美術館である。いにしえより鋸山での石切りの歴史文化があり風光明媚な景色と恵まれた地域資源を有しながらも、過疎化、少子高齢化等、現状を打破するため、数多くの篤志家とボランティアの支援と協力を得ながら、地域活性化の核としてこの美術館を運営して行く。優れた芸術作品を風光明媚で古来より多くの芸術家に愛されたこの地で展示することは地域の芸術文化啓蒙活動に寄与する事はもちろん、外部より訪れてくれた方に癒しと知的満足感を与え魅力ある地域づくりに貢献していく。

III 平成 25 年度の公益財団事業の実施状況

1 平成 25 年度公益財団の展示事業と金谷美術館入館者数

平成 25 年度中の金谷美術館の展示事業は、別表 1 - 2 及び別表 1 - 3 のとおりである。入館者数は 5, 537 人と、前年度の入館者数 4, 983 人に比較して約 500 名増加した。「& OCEAN」等で人気作家の作品を展示した事やコンクール展で出展者及びその関係者が美術館に足を運んでくれた事が功を奏した。展観事業の収支は非常に厳しい状況である。魅力ある展観事業の開催はもちろんであるが、広報にも更に力を入れ各団体と連携を図りながら入館者増進に努めて行く。

2 展観事業以外の美術館主催の事業

金谷美術館は、地域の活性化の核となり、地域振興、地域の人材育成をも一体として実現し、関連行事を美術館が主催者となって、目的事業である次の行事を開催している（別表 1 - 2、1 - 3）。

別表 1 - 2 は、平成 25 年度中の事業すべてを掲載しているが、このうち展観事業以外では次の事業が実施されている。

- (1) 人材育成事業（定款第 4 条第 2 号）「ミュージアムコンサート」（バロックコンサート、クリスマスコンサート）

- 国際交流事業（バリ金谷インターナショナルアートウィーク）
（2）文化活動の指導助言（定款4条3号） 「足湯ワークショップ」
「ネイチャーミュージウムNOKOGIRIYAMA」

IV 運営組織の開催状況

第5回理事会、評議員会の開催

- （1）日時 平成25年6月12日（水）
出席評議員（4名）出席理事（5名）
議案①平成24年度事業報告
②平成24年度決算報告
③監査報告
④役員改選
⑤その他

第6回理事会、評議員会の開催

- （1）日時：平成26年2月5日（水）
出席評議員（4名）出席理事（5名）
議案①平成26年度事業計画（案）
②理事選任
③その他

第7回理事会、評議員会の開催

- （1）日時：平成25年3月19日（水）
出席評議員（3名）出席理事（5名）
議案①平成26年度事業計画（案）
②平成26年度収支予算（案）
③その他